

黒龍会関係
資料集8

巻	巻-号、年	タイトル	執筆者	執筆者情報	キーワード	広告
8	4-1、1920.1	新旺の息を以て世界を对手とせよ	巻頭語			『中央亜細亜図』、朝鮮銀行、日本郵船(株)、高田商会、古川鉱業(株)、古川(名)、塩水港製糖拓殖(株)、『亜細亜時論』客員誌友48名、黒龍会出版部・亜細亜時論(編輯部・営業部)・英文エシアン・レビュー誌・通信部及支局関係者、三越呉服店(東京)、『蒙古通信』、秋山砂糖卸小売部、秋山工務店、日清汽船(株)、服部時計店、東京電燈(株)、渡邊銀行(株)、亜細亜時論大売捌所(東京堂・東海堂・北陸館・上田屋・至誠堂)大阪商船(株)
		日本建国の精神 青島問題の科学的研究と日本の主張の理否 滿蒙除外問題	内田良平 蜷川新 小林丑三郎	法学博士 法学博士	世界大戦の原因(人類の知識の不平等と富の偏重、道徳の破壊、欧米諸国の制度の欠陥)デモクラシー、社会主義、日本建国の大精神=国体の基礎=忠孝の性情、教育勸語 青島の法理上の性質、支那人の青島取戻運動、青島問題に対する米国人の態度 滿蒙除外問題 太平洋問題、その新意義=太平洋上におけるアングロサクソンの支配への対し方 福州事件	
		太平洋問題の新意義 福州事件	満川亀太郎 酒巻鷗公		新日本主義、法制と教育、資本家制度の絶滅、特権階級の廃止、普通選挙観、対外政策 烟酒借款、米国・日本・中国の対応 天民党(結党式・演説会)、塩田朝治 ボルネオの気候・人種	
		新日本主義 我に統一せる対支政策無し 栃木の二日 護謨の樹蔭(其一)——ボルネオ事情—— 大戦余話 怪物海底タンクと無線電話用自動車 標準的倭寇(其一)——五十人組の一团 南京の包圍攻撃—— 半島の冬 蒙古実話 雪の曙	松田榛山 景山一郎 長崎武 龍谷生	在北京	海底タンク、無線用自動車 倭寇 三浦半島	
		新作琵琶歌 赤坂城 鮮人独立運動の根底	後藤肅堂 権藤誠子 南海士郎 葛生桂雨作歌・永田錦心 作曲 内田良平		朝鮮独立運動 朝鮮独立の不可能の理由、日本の朝鮮統治の状況、呂運亨事件、朝鮮人の政派(独立派・自治派・同治派) 朝鮮独立運動、韓国併合、朝鮮人の覚醒・民情、民心救済策	
		朝鮮の統治に就て	葛生能久			
		騒擾善後策	関元植			
4-2、1920.2		平和大詔と国民の覚悟 普通選挙に対する卑見 支那を見て来て 内外危機の襲来	巻頭語 内田良平 佐藤鋼次郎 葛生東介	陸軍中将	平和の大詔 普通選挙問題 中国の南北統一、居留民、排日の原因 国内外の危機	『中央亜細亜図』、東洋拓殖(株)、横浜正金銀行、朝鮮銀行、三越呉服店(大阪)、南満州鉄道(株)

	<p>東方問題の難関 大に非律賓に発展せよ 道教修真論 日本と支那 米人に與へて山東問題を論ず 薩摩義士の表彰</p>	<p>満川 亀太郎 南風生 山内 崑 一 欧羅巴人 ダラクナス ダス 岩田 徳義</p>	<p>在非律賓 在支那 在米印度人 麻生学館長</p>	<p>東方問題、トルコ問題、ロシアのアフガニスタン・インド・トルコなどへの支援、シリア問題 フィリピン の現状と将来、フィリピンへの移民 道教 日中関係 山東問題 薩摩義士 ボルネオの人種(支那人・ダイヤ族)・人情・風俗・生産物(種類・推移・生産額)・土質 アルメニヤ(独立立国・新国土の範囲) 戦争における系統の名乗り、系譜改事 倭寇に関する基本資料、台湾(背景・出発点)、道行、南京城</p>	
4-3、1920.3	<p>固有の綱紀に基いて改造の歩を進めよ 改造よりも革新 何故に海軍を充実せざる可らざるか 西伯利亜を見て来て 日支親善の具体案——広東騒擾の思出と広東香山間鉄道問題—— 朝鮮に議員選挙法の施行を望む——衆議院議長への請願書の要旨—— 浪人天下の旗印 松本菊熊君を憶ふ 護謨の樹蔭(其三)——ボルネオ事情——</p>	<p>龍谷 生 友山 三良 大久保 初男 後藤 肅堂 筑紫 次郎 龍谷 生 帆足 徹 矢野 俊彦 関元 植 外百五名 提橋 覇璉 孤鞍 旅客 龍谷 生</p>	<p>思想界混乱の原因、ハイカラ、新旧思想の長短、国民的自覚・隠忍自重 国防の本義と日本の位置、日米両海軍の比較、日本の天職と対米態度、海軍充実の急務 シベリア(地形・人種・パンと砂糖の欠乏・米人の暗躍・日本人と支那人と露人) 日貨排斥・ボイコット運動、親善策＝広東香山鉄道問題 朝鮮への衆議院選挙法の施行・朝鮮人への参政権付与の請願 浪人、浪人の使命＝日本の世界的使命＝「大宇宙的神化的王道」の世界的宣伝 松本菊熊(経歴・日露戦争の功績) ボルネオの開墾作業上の注意・苦力の賃金・運輸交通・蘭人对日本人</p>	<p>『THE ASIAN REVIEW』、南満州鉄道(株)、『亜細亜大観』、『日露会話編』(丸善(株))、朝鮮銀行、『中央亜細亜図』、東洋拓殖(株)</p>	
4-4、1920.4	<p>支那人は如斯く排日す 標準的倭寇(其三)——五十人組の南京城攻撃—— 奉天戦の思ひ出 志士逸話 人吉山中</p> <p>外交の事日に陰悪なり—附総選挙に対する国民の覚悟— 日本の武士道より見たる前独帝引渡問題 日本の理想</p> <p>社会主義と軍国主義 大英世界政策の発展</p>	<p>一記者 後藤 肅堂 長崎 武 筑紫 次郎 巻頭語 内田 良平 紀平 正美 長崎 武 満川 亀太郎</p>	<p>中国の排日運動、上海各公団排日貨対外宣言、日貨密売者公判会、捏造記事「日本人支那婦人を強迫して衆人環視の中に脱糞せしむ」 倭寇の南京城攻撃の目的と人数、北虜と南倭、奉天戦 現下の国際関係(シベリア・ドイツ・アメリカ・イギリス・トルコ) 前独帝引渡問題、武士道 日本の祖先、「事(コト)」、天皇、軍国主義 ドイツの政変、日本の学者、社会主義、軍国主義、非国家的なる日本の現状、至大至善の日本主義 大英帝国、三C政策、露独英世界政策の比較</p>	<p>『THE ASIAN REVIEW』、東洋拓殖(株)、『中央亜細亜図』、『亜細亜大観』、日本生命保険(株)、台湾銀行(株)、朝鮮銀行、南満州鉄道(株)、</p>	

	所謂デモクラシーの悪感化 立候補之辞	矢野龍谷 佐々木安五郎	照山	イタリア帰りの将校と職工、電車内の大学生と労働者、市吏 衆議院選挙立候補	
	立候補に際して	池田敬二郎	立堂	衆議院選挙立候補、対支問題、普選問題、労働問題	
	選良片影	長崎武		衆議院選挙立候補者の略歴(佐々木安五郎・伊東知也・小川運平・池田敬二郎・伊藤政重)	
	姉妹雑誌エシアン・レビュー発刊披露会			披露会の景況、黒龍会主幹内田良平の挨拶、 米国大使代理バラン・タイムの祝辞、子爵金子堅太郎の祝辞	
	桜花と武士	筑紫次郎		「花は桜木人は武士」、靖国社頭の桜、横川省三と沖楨介、陸軍飛行隊の京城間の大飛行(小関中尉と北川中尉)	
	新作琵琶歌 琵琶坂 地方近信 大和農民団の設立	葛生桂雨作歌・永田錦心 作曲		大和農民団、趣意書、綱領、国歌解説	
4-5、1920.5	此の暴虐と屈辱とを奈何	巻頭語		日本の国内外の情勢に対する批判 ロシア崩壊の原因、現在の日本＝革命前のロシア、両面主義、純日本的	『中央亜細亞図』、朝鮮銀行、『日華公論』(日華公論支局)、『亜細亞大観』、丸松(資)、『THE ASIAN REVIEW』
	両面の美人たる勿れ	長瀬鳳輔		日支親善、排日運動の原因、日貨排斥・駆逐、在支英米人の態度、中国におけるプロパガンダ、日本の新聞＝外国のプロパガンダ	
	彼我共に目醒めよ(上)	由比光衛述	青島軍司令官	日支不和の原因、日支両国の接壤関係、東洋平和の共同担保、日支共同処理問題、両国民相互尊重の必要、支那人士の誤解、日本の公明、日本軽侮・排日の非理	
	日支親善の必要を諭す ポリシエウイズムに就て 洮熱鉄道の価値 新譚り草	副島義一 長崎武 松田榛山 居候堂	法学博士	ポリシエウイズム 洮熱鉄道 非国民、普通選挙運動	
	リシヤール・カズンズ両顧問を送る	葛生能久		ポール・リシヤール(仏・法学博士、エシアン・レビュー編集顧問)、カズンズ(英・文学者)	
	選良片影	長崎武		衆議院選挙立候補者の略歴(副島義一・林田亀太郎・金子栄一・石井三郎)	
	蘭領東印度の概況			オランダ領東インド諸島の地理・言語・歴史など	
	極東露領の資源 阿富汗の旅(上) 地方近信 大和農民団の活躍 附栃木天民 党の施設	エー・シー、ジエウツ	米人	極東ロシア領の耕地・森林面積、石炭・金・魚産出額 アフガニスタン)	
				大和農民団、栃木天民党	
4-6、1920.6	政界の刷新の機			今次総選挙の特色①多数党＝絶対多数党、②少数党の連合でも多数党に拮抗せず、③多くの新人	『中央亜細亞図』、横浜正金銀行、鈴木洋行・鈴木商店(名)、朝鮮銀行、越前屋呉服店、東京電燈(株)、渡邊銀行(株)、東京電気(株)、三越呉服店(大阪)、森永製菓(株)、七十四銀行(株)、横浜貯蓄銀行(株)、田中銀行(株)、『日華公論』(日華公論支局)、『現代蒙古之真相』、『刺客岡田満』(大陸出版社)、『THE ASIAN REVIEW』

徴兵制度改革私案	内田良平		18歳適齢制、軍隊＝国民学校 在留邦人の態度の改正、対支硬論者の態度、 在支官吏の統一策、居留民の自覚、日本経済、 国家教育の改造・大和民族の覚醒、支那農牧の 改良＝日本の食糧問題の解決、在支外人との 親善、国民的外交の実現
彼我共に目醒めよ(下)	由比光衛述／菱沼右一編 記	青島軍司令官／ 国民新聞記者	
謎の露西亜と過激派	近藤義晴述		ロシアの将来と過激派の運命、反過激派の将来、 シベリア出征軍への同情、東支鉄道の将来 ①海拉児連山湾線、②満洲里・洮南線、③海拉 児・大庫倫線、④鄭家屯・張家口線、⑤赤峰・熱 河線、⑥洮南・長春線、⑦吉林・會寧線 日本の国是、王道、日支親善、日本の真情
満蒙の七鉄道 王道を論じて——日本の国是に及ぶ 東支鉄道の就て＝哈爾賓物品陳列館長森 御蔭氏の講演を聴く＝ 新譚り草	田中弘之 岩田徳義	舍身	東支鉄道 朝鮮統治 「日本」「大和」「ジャパン」の語源、「ヤマト」「ジャ パン」の新語源 アメリカの差別性への批判、日本による人種差 別撤廃案 ニュー・インディア紙、インディアン・デリー・ ニュース紙、ヒュルマ・オブサーヴァー紙、リ チャード・ボンリンヒ氏、ランシング氏、フランク・ ヴァンダーリップ氏、エル・エル・クラーク氏 倭寇五十人組の南京城攻撃 衆議院選挙結果(当選者:佐々木安五郎・副島 義一・林田亀太郎・石井三郎)
大和、日本、ジャパンの新研究	鈴木貞一		
日本と人種平等	ボンソンビ・リチャード		
エシアン・レビュー誌に対する批判 南京攻撃後の五十人組	後藤肅堂		
地方近信 戦ひの跡	長崎武		
4-7、1920.7			『中央亜細亞図』、朝鮮銀行、日本郵船(株)、 台湾銀行(株)、塩水港製糖拓殖(株)、服部時 計店、秋山砂糖部、三越呉服店(東京)、『THE ASIAN REVIEW』
時局は極めて重大なり 国民教育改革私案 日英同盟の将来と米国	内田良平 佐藤鉄太郎	海軍中将	国内外の情勢 小学教育、歴史、推理力の養成 日英同盟 トルコの将来、デモクラシー化＝キリスト教化の 警告 シベリア出兵・撤兵、原敬、政治家の統帥権の 攪乱 (シベリアへの)緩衝国設置問題 尼港(ニコライウスク)事件 尼港事件に対する政府の対応への批判、学者 批判
滅びんとする土耳其	長瀬鳳輔		日本のキリスト教 日米関係 トルコ処分問題、インド、回教 日支親善、海関税・各開港場外国人居留地警察 制度・外国人居留地領事裁判制度・各鉄路外国 借款規定の改訂、中央銀行の設立、貨幣制度・ 度量衡制度の改正 井伊直弼、井伊の違勅問題
原さんでは戦は出来ぬ 露人の見たる緩衝国問題 尼港事件の厳正批判	佐藤鋼次郎 ロマノフスキー氏談 黒龍江客	陸軍中将 陸軍中将	
新譚り草 日本に於ける基督教の過去、現在、将来 日米問題私見 国家永遠の統一	居候堂 松村介石 山本美越乃 丹野清	法学博士	
日支親善提議 史実より見たる井伊大老の死	竹内綱 白日樓主人		
4-8、1920.8			『中央亜細亞図』、王子製紙(株)、『亜細亞大 観』、朝鮮銀行、横浜正金銀行、『THE ASIAN REVIEW』
創刊四周年を迎ふ			創刊4周年、国内外の情勢

	日本鎖国論 尼港事件に就ての国民の覚悟 北京政局表裏の人々	内田良平 佐藤鋼次郎 紅夢樓主人	陸軍中将	日本鎖国論、明治維新・開国、日露戦争・三国干渉、日本人＝非侵略民、日本の食糧問題、東洋平和・支那保全主義・シベリア問題、アメリカ批判、欧州戦争(第一次世界大戦)、日本移民問題 尼港事件 北京政局、直隸派、安徽派、張作霖 羅馬尼王国、羅馬尼の現状、羅馬尼軍、過激主義	
	羅馬尼に就て 朝鮮に衆議院議員選挙法施行請願に就て 朝鮮に選挙法施行請願書の提出 印度の革命将さに起らんとす 今昔の感 世界の言論界に於けるゼ・エシアン・レビュー(二)	酒巻鷗公 李東雨	国民協会総務	朝鮮人の対統治的思想、参政権付与問題 主旨、理由 インドの情勢(パンジャブ事件、反英運動) 台湾征討、征韓論、尼港事件	
	ダンヌチオ氏とエシアン・レビュー			世界各地の新聞・雑誌による同誌の批評 ガブリエル・ダンスチオ(フィウメ駐劄伊太利軍司令官) 勘察加(カムチャッカ)の地理・人口・種族・気候・諸都市・産業・交通など パレスタインの歴史・将来、猶太人	
	勘察加事情 新アルメニヤとパレスタイン(其二)	黒龍江客 友山三郎		ヘンリー、ティー、メーヨ(米国大西洋艦隊指揮官)、潜航艇に関する諸説、潜航艇の型の問題・能力、潜航艇に対する防御、アメリカの潜航艇の現状・将来	
	潜航艇の将来	ヘンリー、ティー、メーヨ	米国アドミラル		『中央亜細亞図』、朝鮮銀行、丸善(株)、海外社、麻布学館、日用書房、『亜細亞大観』、『THE ASIAN REVIEW』
4-9、1920.9	恐怖時代か否か			国内外の情勢 市政の荒廃、国民全体の腐敗、その原因＝議院政治 ヤップ島問題 日英同盟の将来 直皖争闘に現はれた支那軍人の思想 新人の凡人化 政界革新の急務	
	此弛緩せる人心を奈何すべき ヤップ島問題 日英同盟の将来 直皖争闘に現はれた支那軍人の思想 新人の凡人化 政界革新の急務	酒巻鷗公 石川四郎 未広一雄 丸山昏迷 長崎武 岩田徳義	抉眼録の著書 在北京	大正8年夏頃からの黒龍江州(シベリア)でのできごと	
	黒龍江の回顧	無名氏			
	薩哈噠事情	一記者 エッチ・セント・ジェー ビー・フィルビー 長剣生		薩哈噠(サハリン)、露領樺太の地理・人口・気候・農業・畜産・水産・林産・狩猟・鉱産・商業・都市、樺太以外の薩哈噠(ウズスク地方)の農業・牧畜・狩猟・林産・漁業・鉱産・商工業・都市	
	亜刺比亜秘密境横断記 名刀物語			亜刺比亜(アラビア)大陸旅行記 名刀の歴史	
4-10、 1920.10	斧は樹の根に置かれたり 対米問題の解決	内田良平		国内外の情勢 アメリカの排日問題、 欧州戦争の矛盾と日本の過誤、国際連盟の無意義無威力、欧州の悪化と日本の学者、哲人同盟の提唱と日本の使命 将来の仮想敵国＝アメリカ、海軍拡張論の批判、空中防御(航空機)・水中防御の重視	『中央亜細亞図』、朝鮮銀行、『亜細亞大観』、ウ井スタン、三越呉服店(東京)、『THE ASIAN REVIEW』
	欧州の現在と日本の将来 真面目の国防＝仮想敵国を国民的に定めよ＝	長瀬鳳輔 佐藤鋼次郎	陸軍中将		

	支那時局観	紅夢樓主人		天津會議、国民大会、南北和平問題、奥桂の争執、国事犯者問題、露支通商問題、北支の大飢饉	
	黒人阿弗利加主義の萌芽	満川亀太郎		アフリカの独立国(リベリアなど)、黒人アフリカ主義	
	朝鮮統治と誠意	長崎武	於尼港	朝鮮統治の現状	
	尼港事件の善後策奈何	小川運平		尼港事件	
	日本建国の鴻図	五弓安二郎		世界大戦の教訓と国家本位、国民思想の動揺(クロバトキンの回想録)皇祖の御神勅、中国・ロシア・西洋諸国の国体、神武天皇の御神勅と明治天皇の御誓文	
	善き軍国主義の提唱	筑紫次郎		軍国主義の長所・美点、悪しき軍国主義	
	対支借款団に関するラモント氏の説明(一)			トーマス・ダブリュー・ラモントのニューヨーク・トリビュン紙掲載文、借款団の目的、米国の政策、新借款団の成立、米国政府の提議、日本の満蒙除外主張	
	露西亜人の性情に就て	黒龍江客		ロシア人の性情	
	プリモルスカヤ事情	酒巻鷗公		オホーツク海沿岸の漁業、プリモルスカヤ州の港湾・市街村落・交通・郵便電信・人種・河流、ラムツキー地方の区分・重要村落・自治状態・衣食・住居・牧畜・鉱山・石炭・燐鉱・象牙	
4-11、 1920.11					『中央亜細亜図』、海外社、朝鮮銀行、日清生命保険(株)、秋山砂糖部、日本生命保険(株)、『THE ASIAN REVIEW』
	英国罷業に就て先皇の遺詔を感ず			英国坑夫の同盟罷業、雄略天皇の遺詔の教訓	
	朝鮮併合の決定に就て 小松緑氏著『朝鮮併合之裏面』の誤謬を正す	内田良平		小松緑『朝鮮併合之裏面』の誤謬(併合方針確定・裁可の日時、倉知氏の覚書)、併合の議決より実行までの真相	
	排斥にあらず擠斥なり	長瀬鳳輔	陸軍中将	日本民族の優秀性と醜劣性、日本人の信念の欠如	
	速に西伯利に鞏固なる政府を樹立せしめよ	佐藤鋼次郎		シベリア情勢	
	対支借款団会議＝支那分割の前提＝	酒巻鷗公		対支四国(英米仏日)借款団会議の決議	
	独逸を見て来て	森孝三氏談		ドイツ視察、欧州戦争開戦責任、ドイツの現状・科学工芸の応用・学术界・思想問題	
	朝鮮統治を賤する東拓＝満鮮巡遊より帰りにて＝	内藤隈南		東洋拓殖株式会社の暴状	
	亜細亜に於ける仏国の新活動	満川亀太郎		フランス・暹羅関係(老撾国境問題、西貢・盤谷鉄道計画)	
	排日の真相と在米邦人	一記者		排日の歴史的観察、排日協会、米国加州における日本人	
	瑋春事件に就て	中村繁	在瑋春	瑋春事件	
	政変後の支那	佃信夫	於奉天	北支の政情	
	対支借款団に関するラモント氏の見解(二)			日本の主張＝満蒙除外要求の撤回、借款団への反対(支那学生団)、支那政府と欧米政府、日本の借款の濫費、中国の立憲政治の乱脈、中国の政治改革私案、日本の希望、アメリカの地位	
	黒龍江雑話＝其一 魚のいろいろ＝	無名氏		黒龍江の水産	
	独逸俘虜の置土産	長崎武		置土産＝「独逸気質の表現」＝境遇の達観・健康の保全・強き研究心(知識欲)・冒険(探偵)思想の豊富・公私(他働と自働)の別・質素儉約	

8 5-1、1921.1

大正十年を迎ふ
来るべき世界の動乱に備へよ＝大勢明察
の必要＝

内田良平

米国排日の教訓

長瀬鳳輔

過激派の南下＝アルメニヤノ国都陥落＝

酒巻鷗公

対支政策を刷新せよ＝支那問題の総勘定
＝
植民地経営を解せぬ現在の満鉄

塘翠学人
内藤隈南

朝鮮民心の離叛＝善政と善教＝

羅一鳳

在平壤 大東同
志会宣伝部長

支那近時片々

一会友

在支那

米国における排日運動

明治神宮祈願文

在京鮮人代表同郷会

極東統一政府訪問記

佃信夫氏談

予は何故に日印協会より退会せるか
退隱の辞

大川周明
松村雄之進

日本と軍国主義＝姉妹誌の印度に於ける
反響＝

ニュー・インディア紙

印度

排日案投票前後に於ける加州新聞の宣伝
振り

編輯子

西伯利ところどころ
北京その日その日
戯曲社頭の暁

河合泰治
筑紫次郎

大正9年回顧(総選挙、経済界の破綻、思想界
の混乱、シベリア問題、中国・南洋・アメリカなど
における排日運動、朝鮮統治、明治神宮の鎮
座)、日本国民の責任、現時人心の悪化
英国の失脚と世界の動揺、日英米の三角関係、
日米の紛糾

大正9年の国際時事の回顧(アメリカにおける排
日)、欧米の「反影」(世界恐慌、世界思想界の
動揺、ロシア革命など)
アルメニヤ(国都＝エリヴァン)、土耳其国民党・
義軍による占領、労農政府
思想(デモクラシー思想・過激思想)、政治(南北
問題の解決・段祺瑞派の没落・広東軍政府の崩
壊・廢督自治運動)、外交(山東問題・福州事件・
露支通商問題・新銀団＝四国新借款団・関税引
上問題)

満鉄(南滿州鉄道会社)
明治天皇の一視同仁の天勅、9年前の事件(尹
致昊ら105名を総督謀殺犯人として逮捕し、多く
を処罰した事件)

呉佩孚馮國璋と孫洪伊、赤化運動、朝鮮人によ
る中国人殺害事件、在留邦人
『ゼ・エシアン・レヴュー』記事、アメリカにおける
排日運動

在京鮮人代表同郷会会員50余名が11月3日に
黒龍会同人30余名と明治神宮を参拝した時の
祈願文

シベリア旅行記(過激派・セミヨフ軍(カッペリー
軍)の視察)、クラスノシチヨコフ極東統一政府総
理との会見、コヂユニコフ特派使節との親交)
日印協会、副島八十六理事からの退会要請、イ
ギリスの意向

松村雄之進
『ゼ・エシアン・レヴュー』の社説「日本と軍国主
義」に関する『ニュー・インディア』10月9日付の記
事

アメリカにおける排日運動、カリフォルニア州の
排日案、ロスアンゼルス・エキザミナー紙記事の
要約紹介

池田生「慘たり満洲里の夜営」、福田生「燃料と
なるニコリスクの兵營」、塩谷生「亜港雑観」、無
名氏「水を飲む人金を喝る人」

北京の紹介
高杉晋作、大宰府天満宮

『中央亜細亞図』、三越呉服店(東京)、『亜細亞
時論』客員誌友48名、黒龍会出版部・亜細亞時
論(通信部・支局)・黒龍会出版部図書大売捌
所(北陸館・東京堂・東海堂・至誠堂)、服部時
計店、森永製菓(株)、『亜細亞大観』、不動貯
金銀行、海外社、山本徳治郎、白木屋呉服店、
『THE ASIAN REVIEW』

5-2、1921.2

『中央亜細亞図』、東京電燈(株)、横浜正金銀行、朝鮮銀行、『THE ASIAN REVIEW』

前進か退却か
今日までの朝鮮(其一)

内田良平

泡沫的新思想を排す

長瀬鳳輔

日本に於ける戦後思想の影響
日本の必要とする海軍力

田中萃一郎
安井正太郎

法学博士

日米戦争の利害

満川亀太郎

西伯利出兵の收穫
極東環遊概観

長崎武
小川運平

独逸の新対支商策

アルメニアの研究
独逸人の両面観察＝青島戦の回顧＝

編輯子
筑紫次郎

特別記事 同光会の成立

世界情勢(アメリカにおける排日運動、シベリア情勢、経済戦、人種戦)、日本の対世界的立場
朝鮮の歴史、族長的貴族制度の持続
大戦後のヨーロッパ＝「廻転の止った七色独楽」、連合国の得失、ドイツの状況、泡沫的新思想
大戦と思想の動揺、デモクラシー＝ライトイズマイト、ミタリズム＝マイトイズライト
大戦前後の日英米の海軍競争
日米不和の原因、日米戦争論、戦争の利害得失
シベリア出兵の收穫(出兵を皮肉った内容)＝日露親善の欠損と利権喪失、忠勇将卒の犬死、出征軍に対する国民思想・観念の熱烈さ・誠実さの欠如、軍紀風紀の小過失。
興安嶺以東の調査旅行
ダス・エッホー誌の記事、独支の国交回復、独支間の問題＝山東問題・山東以外のドイツ既得権の問題・通商条約締結問題
アルメニアの歴史(起源・シリシア王国・トルコ領・ロシア領・露土戦争・排土耳其運動・大戦・アルメニア国建国)
青島戦におけるドイツ軍
同光会、趣意書・規定・成立の経過・発起人・創立大会・役員氏名、賛辞(大隈重信)

『中央亜細亞図』、三越呉服店(東京)、東京電気(株)、帝国生命保険(株)、日清生命保険(株)、田中銀行、大日本人造肥料(株)、大阪五島儀商店(株)、福助足袋、秋山砂糖部、松坂屋いとう呉服店、『THE ASIAN REVIEW』

5-4、1921.4

同光の下に

日韓併合は亜細亞連盟の前提

長瀬鳳輔
内田良平、小川平吉(政友会)、大津淳一郎(憲政会)、長島隆二

同光会創立大会に於ける諸演説
米国の海上兵力＝海事研究会に於ける講演＝

河野董吾 海軍中佐

制限に非ず軍備整頓の時代

長崎武

東宮殿下御外遊と浪人会の祈願
瑋春方面に於ける作水田の概況
ニコリスクより一筆啓上

編輯子
一誌友 在瑋春
牛丸温山

白人批判、亜細亞連盟の急要、皇太子の渡欧
日本の目標(最終目標＝世界平和)、亜細亞連盟(前提＝日韓併合)、ドイツ宰相ビスマルク、明治天皇
同光会、朝鮮情勢、朝鮮に対する認識、融和一致
アメリカ海軍艦隊整備の歴史・現状、将来における日米勢力比較
軍備制限、「軍備整頓」＝軍備の内容充実(軍隊教育の改善、軍人生活の向上、編制の完備)、尾崎行雄批判
宮中某重大事件、明治神宮・氷川神社・日枝神社・靖国神社・日比谷大神宮への参拝・祈願(大正天皇の病氣治癒、皇太子の速やかな成婚、皇太子の外遊延期)
瑋春方面の作沓経営状況、関元植、尼市(ニコリスク)の朝鮮人の状況

	浦潮街上瞥見 香江獄記	福田生 夏思痛		浦潮(ウラジオストック)の状況(気候、人々の「公德心厚し」様子＝電車乗客のマナーの良さ) 夏思痛(支那革命党)の香港での生活 朝鮮人の国民性(「恩募泛愛」、「なんだこんな事か」)・対日観・事大主義の由来・反抗心・愛国心、檀君と箕子 碌堂会、同会主催の水戸での演説大会	
	朝鮮国民性の史的考察(上) 水戸の梅と碌堂会	後藤肅堂 筑紫次郎			『中央亜細亜図』、日本生命(株)、朝鮮銀行、森永製菓(株)、東京電気(株)、『THE ASIAN REVIEW』
5-5、1921.5	落花に対して			不健全な政界・実業界、腰抜外交を批判 アジアの前門＝トルコ、後門＝中国、日本＝後門の番人・黄色人種の指導者、アジア主義、東亜主義・東亜連盟、世界主義、日本主義 世界主義・国際的平和主義・軍備縮少論への批判	
	世界主義よりも日本主義	長瀬鳳輔			
	日本の呪いはれたるを自覚せよ	佐藤鋼次郎	陸軍中将 蒙古産業公司総 弁		
	植民政策上より見たる蒙古の地位	薄益三		強国主義、滿蒙問題、モンゴルの状況	
	軍備整頓の要領＝兵卒教育と生活の改善＝	長崎武		軍人精神の国民精神化、内田良平「徴兵制度改革私案」(1920年6月号掲載)、兵卒生活・中隊長待遇の改善、兵営設備(医務・炊事・娯楽設備)の充実、書籍・蓄音機・活動写真の導入 間島の地理・交通・民族・農産物・林産・鉱物・位置	
	問題の地間島	永井勝三	在会寧	阿富汗土其斯坦(カブール、アミールの所轄するアクス河流域の諸地方)の地理・自然(河流) モンゴル人への日本語教育	
	阿富汗土其斯坦志(上) 蒙古の子女を教育して	左回山抄訳 高橋鏡子 マグヌース・ヒイルシュヘルド		戦争の矛盾・惨害・愉楽 夏思痛(支那革命党)の逮捕・獄中生活	
	戦争の矛盾と惨害と愉楽 香江獄記	夏思痛			『中央亜細亜図』、朝鮮銀行、東京電気(株)、天賞堂、三越呉服店(大阪)、『THE ASIAN REVIEW』
5-6、1921.6	皇太子殿下の御近状を拝聞す 排日の世界化と我等の急務	長瀬鳳輔		皇太子の渡欧、イギリス評価 排日の原因＝日本の成金と奸商	
	比律賓の独立問題と日本 軍備縮小問題 サムライより将校へ＝軍備整頓要領の続稿	松波仁一郎 杉村陽太郎 長崎武	法学博士	フィリピン独立問題、フィリピンの現状、日比関係 軍部縮小問題、 将校論 日本の音楽の3時期＝①上古音楽・②中世音楽・③日本的音楽(「俗楽」)、最上音楽＝中世音楽 阿富汗土其斯坦の行省(区画)・民族・物産・ 工芸・歴史・古蹟 夏思痛(支那革命党)の獄中生活 日米戦争を促成しうる原因＝太平洋覇権競争、植民地問題(フィリピン)、パリ平和会議の齟齬、シベリア問題、朝鮮独立問題、カリフォルニア州における日本人排斥、経済上の問題(石炭・鉄・食糧品)、軍事上の問題	
	日本音楽の系統	田邊尚雄			
	阿富汗土其斯坦志(下) 香江獄記(其三)	左回山抄訳 夏思痛			
	特別記事 支那人の日米戦争観				

5-7、1921.7

創刊五週年を迎ふ

日鮮民族の融和に就て
余と朝鮮問題
朝鮮統治の現状

内田良平
末永節
同光会報告中より

日英同盟の協商化

長瀬鳳輔

世界革命と猶太人に就て

南溟庵主人

故国を顧みて落涙
亜細亜大同盟を高唱す

金学秀
提橋覇璉

アタル氏の死に就て
同光会朝鮮総支部の創立

葛生能久

朝鮮の音楽と日本の音楽
人物月旦 山梨新陸相
香江獄記(其の四)
戦時服(其の一)＝独逸兵卒の手記＝

田邊尚雄
孤鞍旅客
夏思痛
筑紫次郎訳

5-8、
1921.10

皇太子殿下の御帰国を奉迎す

日支提携の時期
極東及太平洋會議に就て 果たして日米戦
争を防止し得るか
極東及太平洋會議に就て 華盛頓をして会
議たらしめよ

内田良平
佐藤鋼次郎
長瀬鳳輔

極東及太平洋會議に就て 太平洋會議と支
那
極東及太平洋會議に就て 国論を統一せよ
寧ろ国難来を歓迎す
朝鮮に於ける宣教師と人心の新傾向
聾啞者の心理状態(其の一)＝併せて誤れ
る攻撃論者に論ゆ＝

水野梅暁
長崎武
麻布道人
金学秀
辻川友作

上海に於ける諸団体
仏領東京の近況

編輯子
高月一郎氏談

草津と白根山
幕末余話(其の一)
香江獄記(其の五)
戦時服(其の二)＝独逸兵卒の手記＝
福本日南先生を悼む

小川柳坡
内田良五郎述
夏思痛
筑紫次郎訳

釜山日報東京特
派員

陸軍中将

八十五翁

創刊五周年、「国事多艱」、日本の使命＝東洋
平和の確立
朝鮮の現状、朝鮮人の不満＝①日本人の朝鮮
人への侮蔑や亡国人扱い・②日本人の朝鮮人と
の共栄共存の意思のなさ・③警察政治の圧迫、
日鮮融和、同光会
末永節＝同光会幹事、朝鮮問題、同光会
朝鮮統治の現状(総督府の見解を批判)
日英同盟、日英同盟の経済的同盟への更新を
提起
猶太人、世界革命、『世界革命の一大陰謀——
マツソン秘密結社』『猶太人の大陰謀——シオン
の決議』『朕が作戦』
朝鮮問題
亜細亜大同盟(亜細亜大連盟)
ハリハルナト・ツラル・アタル＝外国語学校教
授、インド人
同光会朝鮮支部の設立経緯・議定書・役員
朝鮮の音楽の種類＝宮中音楽(雅楽・俗楽)・民
間音楽
山梨半造中将
夏思痛(支那革命党)の獄中生活
ドイツ開戦時の一兵卒の状況

『中央亜細亜図』、三越呉服店(東京)、松屋呉
服店、東京電気(株)、玉屋商店、『THE ASIAN
REVIEW』

『中央亜細亜図』、丸善(株)、朝鮮銀行、『THE
ASIAN REVIEW』

内田良五郎翁小伝

内田良五郎(内田良平の父)の訃報、略歴